

# ロシアによるウクライナ侵略の状況

(2024年2月15日時点)

➤ **ウクライナ軍の東部(ドネツク州)及び南部(ザポリヅジャ州)における攻勢が停滞する一方、露軍は、東部(ドネツク州及びハルキウ州)で攻勢を強めるとともに、ウクライナ全土に対するミサイル・無人機攻撃を強化している模様**

戦闘による人的被害・物的損耗の状況

露軍: 死者約12万人、負傷者約18万人 (NYT8月18日)

: 死者約15万人 (「ウ」軍総司令官11月1日)

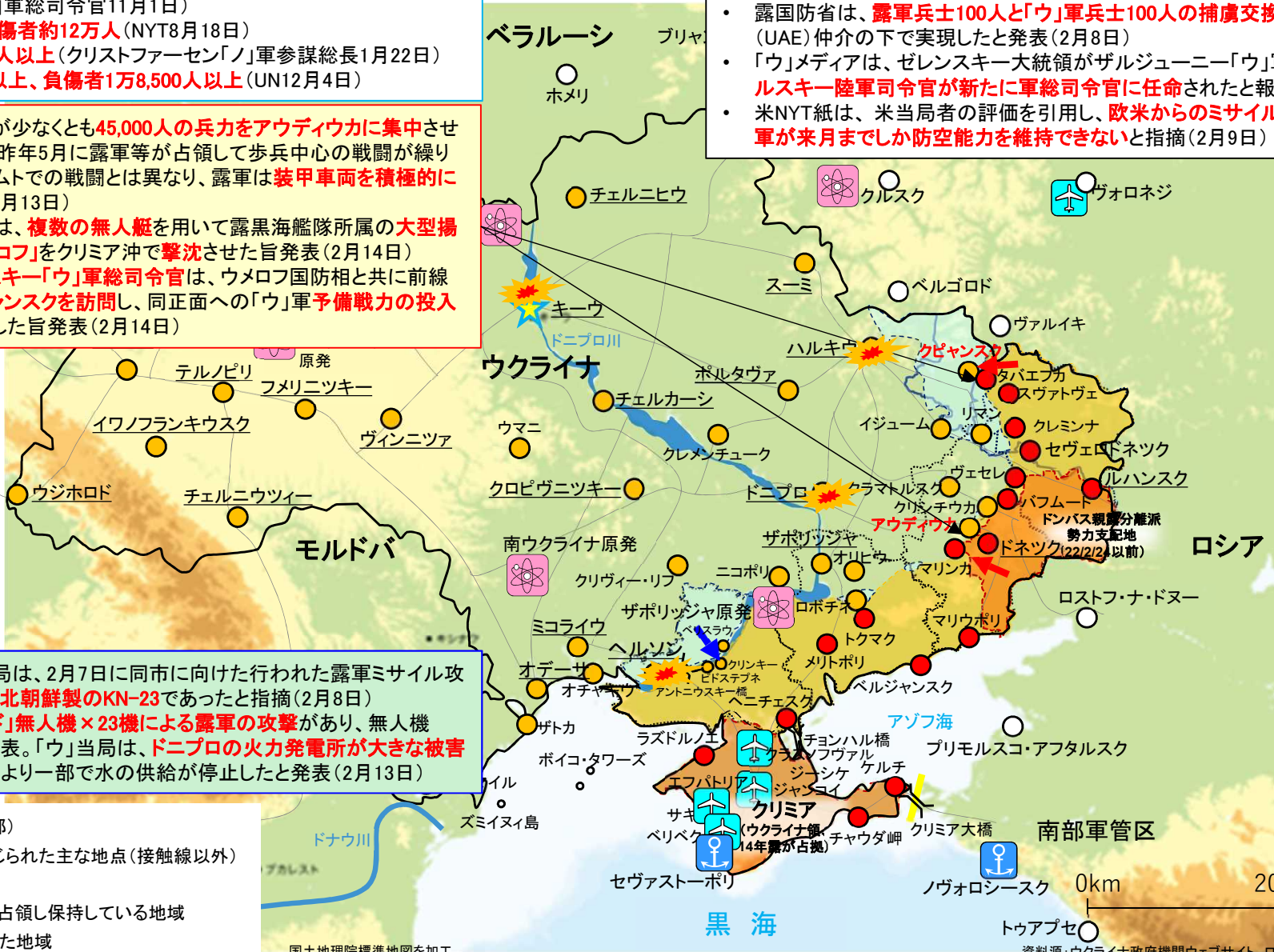
「ウ」軍: 死者約7万人、負傷者約12万人 (NYT8月18日)

: 死傷者推定10万人以上 (クリストファーセン「ノ」軍参謀総長1月22日)

「ウ」市民: 死者10,000人以上、負傷者1万8,500人以上 (UN12月4日)

- 「ウ」メディアは、露軍が少なくとも**45,000人の兵力をアウディウカに集中**させていると指摘。また、[昨年5月に露軍等が占領して歩兵中心の戦闘が繰り広げられていた]バフムトでの戦闘とは異なり、露軍は**装甲車両を積極的に投入**していると報道(2月13日)
- 「ウ」国防省情報総局は、**複数の無人艇**を用いて露黒海艦隊所属の**大型揚陸艦「ツェーザリ・クニコフ」**をクリミア沖で**撃沈**させた旨発表(2月14日)
- 新たに就任した**シルスキー「ウ」軍総司令官**は、ウメロフ国防相と共に前線の**アウディウカとクピャンスク**を訪問し、同正面への「ウ」軍**予備戦力の投入**や**部隊の再編を決定**した旨発表(2月14日)

- 「ウ」国会は、**徴兵年齢の下限を27歳から25歳に下げる**ことなどを定めた通称「動員法案」を**第一読会で採択**。今後、第二読会での審議や大統領署名を経て成立(2月7日)
- 露国防省は、**露軍兵士100人と「ウ」軍兵士100人の捕虜交換**がアラブ首長国連邦(UAE)仲介の下で実現したと発表(2月8日)
- 「ウ」メディアは、ゼレンスキー大統領がザルジューニー「ウ」軍総司令官を解任し、**シルスキー陸軍司令官が新たに軍総司令官に任命**されたと報道(2月8日)
- 米NYT紙は、米当局者の評価を引用し、**欧米からのミサイル補給がなければ、「ウ」軍が来月までしか防空能力を維持できない**と指摘(2月9日)



- 「ウ」**ハルキウ**警察当局は、2月7日に同市に向けた行われた露軍ミサイル攻撃×5発のうち、**2発が北朝鮮製のKN-23**であったと指摘(2月8日)
- 「ウ」空軍は、「**シャヘド**」無人機×23機による露軍の攻撃があり、無人機×16機を撃墜したと発表。「ウ」当局は、**ドニプロの火力発電所が大きな被害**を受けたほか、停電により一部で水の供給が停止したと発表(2月13日)

- 主要都市(下線は州都)
- ☀ 露軍による攻撃が報じられた主な地点(接触線以外)
- 露軍が占領した地点
- ☀ 侵略開始後に露軍が占領し保持している地域
- ☀ ウクライナ軍が奪還した地域

国土院標準地図を加工

資料源: ウクライナ政府機関ウェブサイト、ロシア大統領府ウェブサイト、ISW等